



Little-Net
Web Tool

デザイン自由な
WEB ツール

BASIC 認証管理
L-TOOL BasicAuth (ver 3.1)
取扱説明書

Little Net <http://l-tool.little-net.com/>

- 2017年2月12日版 -

【目次】

1. 概要
2. サーバーへの設置
3. 設定
4. ユーザーアクセス記録の収集
5. 利用規定
6. 更新履歴

■ 1. 概要

このWEBツールは、このツールを設置したフォルダーのベーシック認証を管理する php スクリプトです。
php が使用できる WEB サーバーに設置することで、簡単にベーシック認証ユーザーを管理できます。

尚、サーバーで使用できる php のタイプ(モジュール版/CGI 版)により、幾つかアップロード不要なファイルがあります。

モジュール版 php の場合	<p>●使用できる php がモジュール版（拡張子 .php）の場合は、下記の CGI 版用の php はアップロード不要です。（さくらインターネットのスタンダード等）</p> <p>…/admin.php …/admin.cgi ----- アップロード不要 (CGI 版用の php) …/basicauthlog.php …/basicauthlog.cgi ----- アップロード不要 (CGI 版用の php)</p> <p>（上記赤字以外は全てアップロード）</p>
CGI 版 php の場合	<p>●使用できる php が CGI 版（拡張子 .cgi）の場合は、下記のモジュール版用の php はアップロード不要です。（XREA のコアサーバー等）</p> <p>…/admin.php ----- アップロード不要 (モジュール版用の php) …/admin.cgi …/basicauthlog.php ----- アップロード不要 (モジュール版用の php) …/basicauthlog.cgi</p> <p>（上記赤字以外は全てアップロード）</p> <p>※CGI 版の場合、サーバーによっては上記 basicauthlog.cgi と、各 admin.cgi の先頭行の php パス（#!/usr/local/bin/php）が違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーの環境に合わせて変更して下さい。</p>

■ 2. サーバーへの設置

このWEBツールは、WEB サーバーが Apache で php を利用できるサーバー向けに制作されています。
サーバーへの設置は以下を参照してください。

【1】解凍後、フォルダー内の内容をそのままサーバーのベーシック認証を行いたいフォルダーにアップロードします。

例) `lt-basicauthXXX/` ----> `http://example.com/member/`
(XXX はバージョン番号) (.../member というフォルダーに設置した例)

CGI 版phpを使用する場合、サーバーによっては、`basicauthlog.cgi` と各 `admin.cgi`
(`admin.cgi`, `wbsys/base/admin.cgi`, `wbsys/basicauth/admin.cgi`, `wbsys/basicauthlog/admin.cgi`)
の先頭行の PHP パス `#!/usr/local/bin/php` が違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーに合わせて変更して下さい。

【2】サーバー設置時の各フォルダー・ファイルの属性(=パーミッション)は以下()内の通りです。

```
member/ ----- (0755) 設置フォルダー (設置は php 設置可能な場所なら自由に可能)
├ admin.php(.cgi) ----- (0755) BASIC 認証管理へのジャンプ用起動 PHP
├ basicauthlog.php(.cgi) - (0755) アクセス記録用起動 PHP (各 HTML への設置例は sample-xxx.html を参照)
├ .htaccess ----- (0644) BASIC 認証用の htaccess ファイル
├ .htpasswd ----- (0644) BASIC 認証用の htpasswd ファイル
├ index.html ----- (0644) ダミー用の HTML ファイル。適当な内容に置き換えて下さい。
├ sample-php.html ----- (0644) アクセス記録収集用のコード記述例サンプル HTML (.php 用)
├ sample-cgi.html ----- (0644) アクセス記録収集用のコード記述例サンプル HTML (.cgi 用)
└─ wbsys/ ----- (07xx) システムフォルダー 【※1】
    ├ basicauth/ ----- (07xx) BASIC 認証機能用フォルダー 【※1】
    │   ├ admin.php(.cgi)-- (0755) カート設定機能メイン起動 PHP
    │   ├ xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラム PHP
    │   ├ tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用 HTML
    │   └─ data/ ----- (自動生成フォルダー)
    ├ basicauthlog/ ----- (07xx) BASIC 認証アクセス記録機能用フォルダー 【※1】
    │   ├ admin.php(.cgi)-- (0755) アクセス記録機能メイン起動 PHP
    │   ├ xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラム PHP
    │   ├ tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用 HTML
    │   └─ data/ ----- (自動生成フォルダー)
    ├ base/ ----- (07xx) 管理機能用フォルダー 【※1】
    │   ├ admin.php(.cgi)-- (0755) 管理機能メイン起動 PHP
    │   ├ xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラム PHP
    │   ├ tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用 HTML
    │   └─ data/ ----- (自動生成フォルダー)
    ├ lib/ ----- (0755) 各種 PHP プログラムフォルダー
    ├ css/ ----- (0755) システムが使用している CSS
    ├ js/ ----- (0755) システムが使用している Javascript
    └─ extool/ ----- (0755) 使用している他のフリーソフト
```

【補足】 `basicauthlog.php(cgi)`, 各 `admin.php(cgi)` 等の起動 PHP は、サーバー推奨のファイル属性が (0755) ではなく (0700) 等の場合は、サーバー推奨に合わせて設置して下さい。

【※1】 (07xx) は (0755) でエラーが出る場合は (0777) に設定して下さい。(php の実行時ユーザーが apache で実行されるサーバーの場合、0755 ですと自動生成フォルダー等の生成でエラーが発生します)

※上記の設置で、ブラウザから以下の管理機能用phpスクリプトが起動できます。

BASIC 認証管理機能 → `http://.../member/admin.php` (又は `admin.cgi`)

[補足]サーバーのフォルダー内に .htaccess が既に有る場合は、この BASIC 認証機能のパッケージ内の .htaccess の中身の、以下の部分を、既存の .htaccess の最後に追加して下さい。
(.htpasswd ファイルはそのままアップロードして下さい)

※追加するのは以下の内容です

```
##L-TOOL BasicAuth## --- not delete this mark  
:(上記の行から、下記の行までを全て)  
##/L-TOOL BasicAuth## --- not delete this mark
```

■3. 設定

システムをサーバーに設置後は、管理機能を起動し、以下の設定を行って下さい。

【1】管理機能の起動

- ブラウザから、管理機能を開いて下さい。

例) <http://...../member/admin.php> (admin.cgi)

L-TOOL **** 管理機能 初期セットアップ

L-TOOL **** 管理機能 : [管理TOP](#) [ログアウト |] 6/15(MON)

・以下の各項目を指定して【設定実行】をクリックし、初期セットアップを完了してください。
・(必須)の項目は必ず指定してください。

▼設置URLの設定

設置URL1 (必須) ▼このシステムを設置したURLを指定して下さい。
(システム設置判定用の "l-tool.html" をブラウザで表示し、そのURLを設定して下さい)
 [確認]
例) <http://example.com/xxx/l-tool.html>
※ l-tool.html はパッケージを解凍したフォルダーの直下に入っています。
※ 指定が正しければ【確認】をクリックすると L-TOOL と表示されます。

設置URL2 (SSL) (必須) ▼上記と同じ "l-tool.html" を SSL (https://~) で表示した場合のURLを指定して下さい。
(SSLでアクセス出来ないサーバーの場合は「設置URL1」と同じURLを指定して下さい)
 [確認]
例) <https://example.com/xxx/l-tool.html> (専用SSLの場合など)
例) <https://...../example.com/xxx/l-tool.html> (共用SSLの場合など)
例) <http://example.com/xxx/l-tool.html> (SSLでアクセス出来ない場合など)
※ 管理機能等はこちらのURLでのアクセスとなります。

▼管理者情報の設定

管理者名 (必須) [確認]
※ここで指定された管理者名は、各種メールの送信元名称として使用されます。

- 最初のみ「初期セットアップ」画面が表示されます。

「設置 URL1」「設置 URL2」「管理者名」「管理者メールアドレス」「ログインID」「パスワード」等を設定して下さい。設定後はログイン画面が表示されます。上記で設定した「ログインID」「パスワード」でログインして下さい。

- ログイン後は「管理TOP」メニュー画面が表示されます。

最初に「BASIC 認証の各種設定」をクリックし、BASIC 認証の設定を行って下さい。

L-TOOL BasicAuth 2.1 管理機能

L-TOOL BasicAuth 2.1 管理機能 : [管理TOP](#) [ログアウト | [BASIC認証エリアTOP](#)] 6/21(SUN)

■ [BASIC認証ユーザーの管理](#)
■ [BASIC認証ユーザーアクセス記録](#)
■ [BASIC認証の各種設定](#) (クリック)
■ [システムの各種設定](#)
■ [ログインID・パスワードの設定](#)

【2】BASIC 認証ユーザーの管理

- ・「BASIC 認証ユーザーの管理」からはユーザーの登録が行えます。ユーザーの登録を行って下さい。ユーザー登録後は対象のフォルダーは、すぐに BASIC 認証が有効となります。

【3】BASIC 認証ユーザーアクセス記録

- ・BASIC 認証の対象フォルダー内の HTML に、アクセス記録収集用のコードを挿入した場合は、ユーザーがログインし、その HTML を閲覧する度に、アクセス記録が収集されます。
- ・アクセス記録が収集されている場合は、「BASIC 認証ユーザーアクセス記録」から最近のアクセス記録が閲覧できます。

※サーバーがモジュール版 php の場合は sample-php.html を、CGI 版の場合は sample-cgi.html を参照して下さい。アクセス記録収集用のコード記述例が載っています。

■ 4. ユーザーアクセス記録の収集

BASIC 認証の対象エリア内の HTML にアクセス記録収集用のコードを埋め込む事で、そのページのアクセス記録を収集する事ができます。

埋め込むコードは以下のとおりです。各 HTML の </body> の直前などの埋め込んでください。

【モジュール版 php で動いている場合】(sample-php.html 参照)

```
<!-- アクセス記録収集 -->
<script type="text/javascript">
<!--
var page = document.URL;
var date = new Date();
var time = date.getTime();
document.write('<div style="display:none;"></div>');
//-->
</script>
<!--/アクセス記録収集 -->
```

【CGI 版 php で動いている場合】(sample-cgi.html 参照)

```
<!-- アクセス記録収集 -->
<script type="text/javascript">
<!--
var page = document.URL;
var date = new Date();
var time = date.getTime();
document.write('<div style="display:none;"></div>');
//-->
</script>
<!--/アクセス記録収集 -->
```


■5. 利用既定

このソフトウェアを利用する前に「利用規定」を確認し、内容に同意したうえでこのソフトウェアを利用してください。

【1】利用規定

- (1)このソフトウェアは商用ウェブサイト・非商用ウェブサイトを問わず、自由に設置して利用できます。
- (2)このソフトウェアの不具合等により利用者等に損害が発生した場合であっても、損害に対する賠償責任は当方(制作者)には無いものとします。この点に同意したうえでこのソフトウェアを利用して下さい。
制限解除キーを取得した場合や、有料設置した場合でも同様です。
- (3)このソフトウェアの著作権は当方(制作者)にあります。パッケージ内に当方制作以外のフリーソフト等が含まれている場合、そのフリーソフトの著作権・利用規約のみは各フリーソフトの規定となります。

【2】不具合に関して

このソフトウェアに不具合があった場合、個別の対応はできませんが、修正やバージョンアップの為、ホームページのお問い合わせフォームより、不具合のご連絡を頂ければ幸いです。

■6. 更新履歴

- 2016年09月19日 [Ver3.1] 利用制限の解除。
- 2015年07月14日 [Ver2.2] L-TOOLリンクの表示を修正。XHTMLからHTMLへの修正。
- 2015年06月21日 [Ver2.1] 制限解除キーの追加。パスワード暗号化md5対応。各種機能の修正、不具合の修正。
- 2015年04月08日 [Ver1.8] 不具合の修正。(BASIC認証ユーザーの取得方法の修正)
- 2013年09月09日 [Ver1.7] 不具合の修正。(php5.4非推奨関数の修正)
- 2013年02月22日 [Ver1.6] 不具合の修正。
- 2012年07月05日 [Ver1.5] 不具合の修正。
- 2012年06月25日 [Ver1.4] スマホ対応用に画面サイズの変更。不具合の修正。
- 2012年04月10日 [Ver1.3] アクセス記録(ログ)の収集機能追加。制限解除の廃止。登録ユーザー数制限の廃止。
- 2011年09月23日 [Ver1.2] 認証エリア名の設定機能を追加。
- 2011年07月28日 [Ver1.1] フリーソフトとして配布開始。